研究機関名：東北大学

受付番号：	2013－1－45
研究課題名	レセプトデータ等から抽出する当院における終末期がん医療の質の評価
研究期間	西暦 2013年5月（倫理委員会承認後）～ 2016年3月
対象材料 □病理材料（対象臓器名　　） □生検材料（対象臓器名　　） □血液材料　□遊離細胞　■その他（　診療データ　） 上記材料の採取期間　西暦 2008年1月～ 2012年12月	
意義、目的	本研究の目的は、レセプトデータ等を用いてがん医療の質を簡便に評価する方法を開発するため、東北大学病院のデータベースを用いた終末期がん医療の解析を行なうことである。レセプトデータ等を用いた緩和医療や終末期がん医療の質の評価は国内初の試みである。日本のがん登録による診断、治療、生存率等の情報収集だけでは、実際の治療内容を把握できず質の評価が困難な現状である。当院におけるレセプトデータや診療情報等のデータベースからより臨床に則したがん医療の実態を明らかにすることは、非常に意義がある。またデータベースを用いた質の評価が確立することにより、患者・遺族に負担をかけずに簡便で経年的な質の評価が期待できる。
方法	東北大学病院で2008年1月～2012年12月の間に、当院入院中に死亡した主要5大がん患者(肺癌、胃癌、肝癌、大腸癌、乳癌)を対象に、死亡30日以内の積極的がん治療（外科手術、抗悪性腫瘍薬の投与、放射線治療）、オピオイド投与、ICU入室歴、輸血量法、酸素投与、抗菌薬投与、医療費等のデータを抽出し統計学的に解析する。
問い合わせ・苦情等の窓口 実施責任者：東北大学大学院医学系研究科緩和ケア看護学分野教授 宮下光令 TEL: 022-717-7924　FAX: 022-717-7924 実施担当者：東北大学加齢医学研究所　臨床腫瘍学分野　大学院生　佐藤悠子 TEL: 022-717-8547　FAX: 022-717-8548	